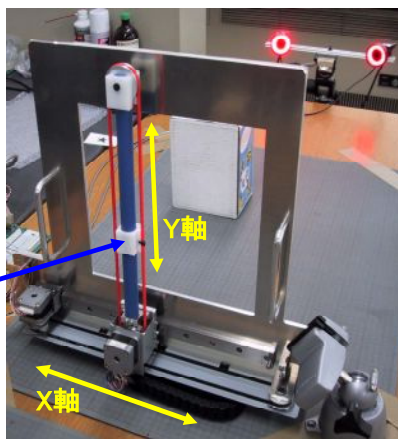


医療用のX線透視装置は診断だけでなく、最近ではカテーテルという血管内挿入器具による手術時にも使用されています。

カテーテルによる頭部の手術時には患者の眼球部に多量のX線が照射され白内障を引き起こす恐れがあり、このような患者への放射線障害を軽減する遮蔽装置を開発しました。

<特徴>

- ・防護部位(眼球位置)が移動しても追従して遮蔽が可能(±1mm程度の精度)
- ・リアルタイムに追従動作が可能(応答速度は約1秒)
- ・小型、軽量で既存のX線透視装置に取付け可能(遮蔽装置の重さ5kg)

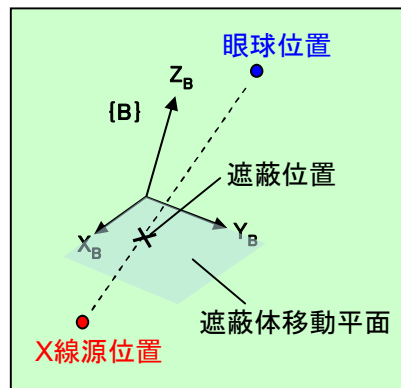


遮蔽板(鉛板)  
取付け位置

小型・軽量の遮蔽装置を製作

寸法:W480×H450×D100 質量:約5kg

常に眼球位置をカメラで計測し  
遮蔽位置に遮蔽板を移動制御する



<遮蔽原理>

<動作実験>

